

葉山を変えなければいけない話!!

過去9年間で5億5,173万円の損失!!

【石岡じっせいNews Vol.2】で触れた『葉山町のもったいない騒動』では確定されていなかった「地域手当」の話ですが、H26年度の明細が公表されました。一時期100%と言われていた特別交付税の減額率は、正式には**76%***1にとどまりましたが、それでも**3,255万円***2というお金が減額されました。(最終的に交付された金額は1,022万円)

更に、国の指針に逆らって、H26年度に町が町職員に対して余分に支給した額は4,700万円*3。

結果的に約**7,955万円***4もお金を無駄にした訳です。

この制度が開始されてからの過去9年間で、減額された特別交付金の合計額は**1億,984万円***5。これに、まちが町職員に過剰支給し続けた金額約**4億4,189万円***6を加算すると…

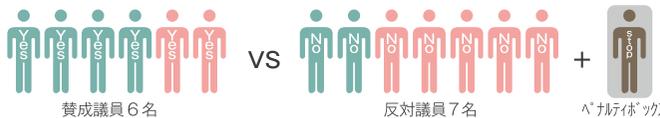
約**5億5,173万円***7もお金を損失したことになります。

これらのお金は、本来、私たち町民のために使われなければいけないものですし、しかも、余分に支払われているお金の出所は私たち町民の血税です。

やっぱり、これは、どうみてもおかしいですよね!?

それでもこれをよしとする議員が7名もいます。

先の(3月)葉山町議会の本会議において、地域手当10%から国の指針6%へ是正する『一般職の職員の給与に関する条例改正案』が否決されました。**14人中7人**の議員が、この議案に反対しました。(1名出席停止処分中だったため、7対6での否決)



確かに、国が定めた「地域手当6%」という基準に対しては些か疑問は残ります。しかし、冷静に判断すれば、優先順位

を含め、こんなあり得ない図式を認めてはいけません!!
前回も言いましたが、本来、町民の立場で、町民の生活を第1に考えなければいけない議員がどうしてこんな結果になったのでしょうか。これこそが葉山町の**悪しき慣習**にある**馴れ合い議員**の姿だと思いませんか?

議員の務めは役場職員のご機嫌取りではなく、まちの实际情况を理解してもらうことです!!



更に、葉山の品位を下げる議員が問題なんです。

葉山町のお金がどうなるのか? そんな大切な話し合いをしなければいけない時期に、**問題行動、発言**が多いある議員が**懲罰委員会**にかけられ、**5日間の出席停止処分**になり話し合いに参加出来ていませんでした。

この話題は、新聞やニュースにも取り上げられ、葉山町議会の汚点としても痛手を負いましたが、これは、そんな議員を選ぶ側の課題ともなる問題です。

是非一度、葉山町議会の本会議や委員会をインターネットでご覧になって議会の現実を知って下さい。おそらく、きっと、「このままじゃいけない」と思われるはずです。



議員…そして議会を変えなければいけません。

現在の葉山町議会では、大切な町民の生活より、馴れ合い政治から抜け出せない議員が半数いるという事が、先の議会で露呈しました。今こそ、この馴れ合い政治からの脱却を図るべく、議員の入れ替わりをさせなければなりません。

その上で、議員報酬や議員定数を含む「議会の在り方」について改めて検証し、より建設的で実りある議会運営が出来る様にしなければいけないと思います。

*1 ~ 6 葉山町総務課より

*7 葉山町総務課データを基に石岡算出

No.1ではなくオンリーワンになります!!

自分自身の政治姿勢を貫き通します。

結果を出すこと、残すことにこだわりながら、どんな時でも自分らしく、決して投げ出さず、一つ一つの課題や問題に真剣に取り組みます。

想うこと伝えたいことが沢山あり過ぎて…

石岡の基本は葉山を『守る』ことにあります。具体的に何を守るのか? それは、町民の皆さんの命・生活・生き甲斐・そして環境です。

守るために変えなければいけないものは、しっかりと変えていきます。

いつの日か…世界に通用する葉山を目指し、色んな葉山の『今』と『これから』を守ります!!

それが石岡の使命です!!



葉山町を支えてくれた多くの先輩方のために…
これからの葉山を担う子どもたちのために…

より多くのアイデアを創出・採用し、官民一体となって…、又、近隣の自治体とも連携し、そして協力し合いながら『持続可能なまちづくり』をしていかなければいけません。

近藤も、石岡じっせいを応援します!!

これからの自治体運営は、厳しいことばかり。情熱を伝染させ、地域で地域を守る人達を創り出さねば未来はありません。全てが繋がっている豊かな交流を呼びさます。現代人が忘れかけている、心の叫びを共に皆に伝染させましょう!!



神奈川県議会議員 近藤大輔